

東白川村 美しい村づくり 委員会

第84回

○場 所：役場別館3階会議室

○時 期：令和6年4月16日 19:00~21:00

○参加者：委員4名 行政担当4名 一般：8名

【今年度の新しい取組】

・ ・ ^{こよみ}暦くらす（東白川村の暮らしや文化の体験イベント） ・ ・

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけや場づくり、村の伝統や文化を後世に伝えることを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標とします。

第1 村長あいさつ

皆さんこんばんは。令和6年度の初めての4月の委員会開催となります。今回は、がんばる地域補助金申請プレゼンがあり、新しい取組が創出されていることに、とてもうれしく思います。申請される夢風船さんの取組の内容は、大変すばらしく、適時適切で意義のあるものとなっています。この度の申請ありがとうございます。この補助金は、美しい村づくりの推進や村民の方の活動支援として、他の市町村の事例を研究し、美しい村づくり委員会とともに平成28年から始まり、9年目を迎えました。今後は、補助金の仕組みなどをより良いものへと変更していく予定です。また、委員会も84回を迎え、発足から毎月開催し、毎回、私も出席してきました。当初は地元の方の参加がありましたが、現在は移住者の方が多く、自主的参加のもと、情報交換や村の慣習について話し合っており、当初とは違う効果が生まれています。

村の行事やイベントは、アフターコロナを踏まえつつ、新型コロナ以前のあり方に戻していますが、村の人口はそうはいかない現状です。3000人から現在2000人となり、数年で1800人から1500人へと減少してまいります。行政としましては、人と人との関わり合いや、豊かな暮らしが村に残り続けるよう、そしてこの村で暮らして良かったと思えることを念頭に、事業・予算づくりを行い、2000人以下の規模対応として、リサイズを実施していきます。そういう意味でも、今回申請される夢風船さんの地域活動や文化活動が、価値ある村づくりに寄与しており、去年も申請が2件あったことから住民活動が活発化していると感じていますし、この補助金の効果が見えはじめ、今後も楽しみにしております。

とはいえ、世間では景気や賃上げの動向からも、やはり都市部の一極集中、若者の地域離れは進んでいます。このような状況の中、東白川村としましては、移住者の方とも、里山の暮らしの価値や喜びを、そして村の魅力をしっかり情報発信していきましょう。本日もよろしく願いいたします。

第2 がんばる地域づくり補助金 申請プレゼン

申請団体：読み聞かせボランティア夢風船

対象事業：戦後80年「せんそうとへいわ」

読み聞かせボランティア夢風船さんから事業説明などの申請プレゼンが行われました。また、戦時中の手記の朗読も行われました。

美しい村づくり委員会は申請事業を適正と村長に上申しました。

※対象事業のチラシ添付

〈意見等〉

- ・「戦争」を具体的に伝える、とても意味のあるすばらしい取組。
- ・日本では、教育現場も含め、避けてきた「生と死」「現実」を伝える重要な取組。
- ・事業の新規性は弱い印象ですが、夢風船さんの取組を続けていく重要性から適用となると思います。

Q：交通費や謝金はどうなっていますか。

A：交通費等が国費で賄われているものと、謝金が不要な方となっています。車代は最寄りの駅から会場までの費用となっています。ギリギリの予算支出の設定です。

→ 車代や謝金、その他支出項目を事務局と詳細設定しましょう。

→ よろしくをお願いします。(夢風船)

Q：TV制作会社の番組を上映されますが、著作権や上映料はどうなっていますか。

A：制作者の方から無料との回答をいただいています。(夢風船)

→ TV局への確認も必要かもしれません。

→ 再度確認します。(夢風船)

Q：中学校で上映される映像は中学校側とも確認しましたか。授業扱いの上映会でしょうか。悲惨な映像を視聴する生徒さんへの配慮などの責任者の判断は得ていますか。(村長)

A：作品映像は見ることはできませんが、他の中学校での上映実績があります。新たな段階に入った今、若い人たちに伝えたい。「戦争」への思いを共有したい。この願いのもとこの事業を企画しました。

・予算支出を事務局と一緒に確認し、TV著作権・上映料について、中学校への判断確認も再度確認していきましょう。(事務局)

第3 ^{こよみ} 暦くらす (暮らしの体験会)

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけづくりを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標としています。運営は、事務局と委員が協働で実施していき、村の方が村でやりたいことを実現する場を設定し活動していくことで、官民協働活動と位置付けています。

〈年間スケジュール〉

令和5年度					
朴葉寿司	鮎の友釣り	母樹林 ウォーキング 雨天中止	しめ縄	味噌づくり	母樹林 ウォーキング 開催中止
令和6年度					
野草 山菜	茶	紅葉 ウォーキング	発酵食	こんにゃく	林業

1 釜炒り茶体験について

決定内容をお伝えし、スタッフ協力をお願いしました。

2 春の母樹林散策（暮らし編）について

案内役の方の都合上、開催予定日は6月8日の10時から14時を提案確認しました。

3 秋の母樹林散策（林業編）について

案内人は村役場職員。村で開催予定の全国木のまちサミット以降の開催日案を提案しました。（11月2日 ・ 11月4日 ・ 11月9日）

4 発酵食づくりについて

冬季に開催予定の発酵食づくりについて、意見を募りました。

- ・スルメの麴づけ
- ・甘酒
- ・味噌やたまりを使った味ご飯

第4 雑談から生まれるワークショップ「私の近況報告」

- ・村の農産物、加工品を使っの食と発酵をテーマにワークショップを、5月18日と19日の2日間開催します。講師は、大阪の料理人と名古屋の発酵研究家の2名です。開催地は村内と村外です。交流会も村内でできればと考えています。村の方の参加を優先したいと考えています。今回のイベントで、がんばる地域づくり補助金の申請を検討しましたが、独自

運営で行います。秋にも開催予定ですので、その際は補助金申請を視野に入れていきます。

・夫の視覚障害の進行が早く障害等級も上がっています。そんな中、行政へ支援の問合せをしていますが、困っている状況やサポートの不一致で困っています。小規模で顔のみえる自治体ならではの、細かで柔軟な対応を実現してほしいです。

・「美しい村」とは？と考えると、それはそこで暮らす人が元気で健全で田畑もしっかり守られている、人の営みではないかと思います。そのためには人口維持が重要だと思います。そして、私にできることとして、ヒノキに絵を描いたり、村の美しい風景画を描いたりしています。絵画教室を保育園でおこなっていますが、村の美しい風景画を募集するのもいいかもしれません。

・新たな暮らし方を模索しています。おかげさまで、こちらに移住して食の自給自足は実践していますが、エネルギーの自給にも挑戦したいです。村の移住者の方には、水の自給や電気の自給を実践している方もみえます。たとえば、トイレに関しても、汲み取り式にもみ殻と、農業資材のとある菌を投入すると、排せつ物を分解し汲み取る必要がなくなる方法もあります。水に関していえば、村内の湧き水を調査し、水質検査をして、みんなが使えるようになるといいなと思います。

→ 以前、深さ 10mほどの簡易井戸水を水質検査したところ、大腸菌などみつかりました。

→ 山水は飲料以外で利用しています。

→ 山の環境も昔と比べると変化している。堆肥などの影響で有機物が多い。

→ 昔と違って、今は鹿も増加している。

→ 水の配管素材による影響もある。

第5 村の魅力再編集について

事務局から下記の取組みについて、LINE の画面を投影しながら概要を説明しました。

観光視点ではなく、暮らす方の日常の視点で、村の魅力を再発見する取り組みです。まずは委員中心で実験します。LINE オープンチャット機能を利用し、「東白川村の美の基準」と題し、それぞれの好きな景色や場所に言葉を添えて投稿します。

第6 郡上市大和町視察について

「どぶろく」について調査・研究しています。これは、「日本で最も美しい村」連合の具体的な取組みテーマの一つである「美味しい村開発」に該当する、本委員会の取組です。今回は、岐阜県内で活動されている、郡上市大和町の取組を4月24日に視察します。

第7 閉会（21：00）

〈次回〉

第85回

とき：5月27日（月） 19時から

場所：ふれあいサロン

次頁：添付資料

対象事業：戦後80年「せんそうとへいわ」のチラシ

あれから80年。そして、これから・・・



第一部
2024年6月29日（土）
広島原爆朗読会



第二部
2024年10月、11月
ドキュメンタリー「村と戦争」
上映会

読み聞かせボランティア夢風船 戦後80年 せんそうとへいわ



第三部
2025年6月
戦後80年～せんそうとへいわ～
夢風船朗読会

今、平和な世の中ですか？

この地球上で今日もいたるところで戦争や紛争が行われています。日本における戦争は本当に過去だけのものでしょうか？新たな段階に入った「戦後」を今一度振り返り、平和とは何かを考えてみませんか？

お問い合わせは
コチラまで

読み聞かせボランティア夢風船
Tel：090-1564-9205 古田
E-mail：yumefuusen.hs@gmail.com

私たち「夢風船」は、戦後60年、70年の節目の時に朗読会を行ってきました。そして、戦後80年。今回は「せんそうとへいわ」を考える三部作を企画しました。幅広い年代の方々にご来場いただきたいと思っております。

- ・第一部 今年6月29日（土）10時～ はなのき別館「被爆体験記朗読会」広島原爆資料館から講師を招き被爆・被害の実相の上映と体験記朗読
- ・第二部 今年秋 村内三か所 東海テレビ制作の東白川村を題材としたドキュメンタリー「村と戦争」の上映会
- ・第三部 来年6月12日 はなのき会館 夢風船朗読会「戦後80年 せんそうとへいわ」

第84回美しい村づくり委員会

村長

- ・美しい村づくり推進
- ・補助金利用がどうだったか
- ・委員会毎月開催していた。
- ・自主的参加・移住者の方
- ・対話・交流重ねて。

しくみ変更検討!

人事移りか、4月新しい取組を

新しい取組

おのづから

若人たちに

- ・アフターJOTと
- ・イベントのあり方
- ・2000人以下対応の
リサイズ
- ・村民の方による
地域活動・文化活動

→ よりよい暮らしに。
→ 情報発信していきたい。

「戦後80年 せんとく」といふ

① 6/29(土) 朗読会

② 10月・11月 上映会 3回(各地区)

③ 今年6/12 朗読会

新たな段階に入った
「戦後」への思いを共有したい。

若人たちに...

◎ 中学校 (授業として?)

◎ 新聞のスタッフ

歴史資料

確認方法
DVD内容は?

確認

車いす
詳細設定

- ・ 正しい意味のある取組。
- ・ 「戦争」を具体的に伝える。
- ・ 新しい取組と
つなげる重要性

交通費・謝金は?
→ 国費で対応
→ 車両代(馬車代)

・ TV著作権
→ 確認はする(局へ)

戦後60年の取組から
スタート

○ 階級者とサポーターの不一致
 ○ 困りごとが解消しづらい。スピード感 例がない
 ex) タブレット X
 → 東京は OK
 都市部と地方、住みやすさはそれぞれ
 ↑ ↑
 系統かな対応
 「美しい村」って? 元気・健全・団結
 人の営み 人口維持
 私ができること → ヒノキに絵
 → 美しい風景画
 試作
 村の個性とか 木算はとか
 ○ 絵体験会 OK
 ○ 新しい暮らしを探します、
 みとなりに引越してきませんか。
 { エネルギーの自給 } 水
 { 村のインフラ } 火
 ex) オフグリット
 ex) トイレと菌
 ○ 村のおいしい水、使える水を
 調べてみたい。
 山のかんぽう
 ・ 落差にめる方法 配管素材
 ・ 山の水





以上